



# 保護者のみなさんへ

この度は、テイク・アクション・キャンプにお申込みいただきありがとうございました。  
本プログラムが、参加する子どもたちにとって「世界を変える行動を起こしていくきっかけ」となりましたら幸いです。

プログラム終了後も、ご不明点や質問などありましたらお気軽にお問合せください。



## 団体説明、及び、子どもと関わる姿勢について

フリー・ザ・チルドレンはカナダの当時12歳のクレイグ少年が児童労働の新聞記事をきっかけに1995年にクラスメイトと設立されました。カナダの理念に共感し、日本では1999年に団体を設立しました。現在は、途上国の貧困地域の自立支援と並行して、「世界は変えられる」と子どもがそう信じられる社会を目指し、「子どもや若者は助けられるだけの存在ではなく、自身が変化を起こす担い手である」という理念のもと、日本の子どもや若者が国内外の問題に取り組み、変化を起こす活動家チェンジメーカーになれるようサポートしています。

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、2つのfreeをミッションに掲げています。

- ①国内外の貧困や差別から子どもをFreeに（解放）する。
- ②「子どもには世界を変えられない」という考えから子どもをFreeに（解放）する。

スタッフやファシリテーターは上記の理念のもと、下記の「子どもたちと関わる姿勢」を大切にしながら子どもたちと接しています。プログラム中は保護者の皆さんにも同様の姿勢でサポートいただければ幸いです。

## 子どもたちと関わる姿勢

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンでは子ども、おとな共に理想の姿は「自分の望む道を、自分で切り拓いて開いてゆけるようになる」ことが理想の姿だと考えています。そのため、スタッフが子どもに接する際のスタッフの基本的な姿勢は、「教える」という上からの立場ではなく、「子どもから意見を引き出し、見守り、サポートする」という形が大切だと考えています。それは子どもが自分自身でできることを必要以上に介入することは控え、「何かをやってあげる」のではなく、「対等な立場として子どもにアイデアを提案し、それをどうするかは子ども自身が決める」という姿勢です。

※ただし、法律に触れることや、命にかかわることに関しては、必ず注意が必要です。

つつい手を出したくなったり、「おとなとして」アドバイスをしたくなったりしますが、子どもが「自分で考え、自分で実行できるようになる」ためには、子どもたち自身が「決断」、「勇気をもって進む」、そして時には「失敗」を経験しなければなりません。おとながすぐに「答え」を教えてしまえば、子どもは「失敗」から学ぶことを経験できず、いつまで経っても失敗だけを恐れ、おとなに頼ってしまい、自分で何かを考える力、達成する力がつきません。逆に、これらの経験を経た子どもは、自立した人間へと成長していくと、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンでは考えています。

# ♥ スタッフ・ファシリテーターへ伝えている具体的な子どものサポート方法

※保護者とお子さんとの関係では必ずしも当てはまらないものもあるかもしれませんが、参考までにご紹介します。

## 1. 「聞く」

【子どもが話したがっている場合】

全てを話し終えるまで、きちんと話を聞きましょう。話を聞いている間は、「そうなんだ」、「○○なんだね」、「そっか、辛かったね」と声をかけてあげて、ありのままに受け入れましょう。

あなたが「違うな」と思っても、子どもが「そうだ!」と思っていれば、それは子どもが出した答えです。否定は避けましょう。子どもが話している最中に「君は間違っている。こうあるべきだ」とおとなの考えを押し付けると、今後あなたに何も話さなくなるでしょう。かといって、あなたの考えをわざわざ子どもに合わせるのも違います。「そうなんだね。君はそう考えるんだね。でも私はこう思っているよ」と考えを伝えるのもいいでしょう。

【子どもが自分から話さない場合】

できるだけ自分から話したすのを待ちましょう。ただ、「話したいけど、言い出しづらい」様子であれば、「何か気になっている事がある?」と声をかけてみます。それでも何も話さない場合は「話したくなったら、いつでも言ってね」と伝えましょう。(もちろん、それでも一人で抱え込み、疲れてしまう子どもがいるかもしれません。そんな時は、状況に合わせた対応を。)

※子どもから聞いた話を勝手に他の人に話すのはNG! (子どもはおとなを信頼しなくなります)

## 2. 「支えになる」

これは、次のような姿勢・態度です。

話したいことがあったら、いつでも言っていよ。

失敗しても、絶対に見捨てないよ。

失敗してもいいよ。だめもとで、やってごらん。

なにか協力できることがあったら、言ってね。

あなたが成長するのを見守ってるよ。

あなたのこんなところを尊敬するよ。

あなたなら出来る! 信じているよ。

子どもの夢を聞き、色々な問題を議論し、いろんな話をするように心がけましょう。

子どもから話しづらそうだったら、まず、おとなから「おとなとしての外聞・恥を捨て、心を開いて」みましょう。

嘘やきれい事に子どもは敏感に察知します。正直に「夢」や「想い」を伝えてみます。

すると、子どもは自然に自分のことを話しやすくなります。



2023年3月28日  
ついに待望の会場開催!

チェンジメーカー・フェスは、「社会をもっとよくしたい!」という想いを持ってソーシャルアクション(社会問題の解決につながる行動)に取り組んだ子どもや若者が集い、活動家や著名人と一緒にこれまでのアクションや成果を祝い、互いのこれからの活動にエールを送るライブイベントです。

テイク・アクション・キャンプの参加者の皆さんはプログラム中にアクションを起こしているのでエントリーが可能です!



詳細 <https://ftcj.org/changemakersfes>

